

# 玉掛け作業の作業手順

制定・改定日 2022.2.18

項 目	内 容	留 意 事 項
準 備 工	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業内容の確認</li> <li>作業人員の確認</li> <li>保護具の点検</li> <li>使用機械、資材、工具の点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指示の内容確認</li> <li>使用禁止のワイヤーロープ 1よりの中で素線数が10%以上の素線の切断が有るもの キंकした物 著しい形くずれの有るもの 著しい腐食</li> </ul>
玉掛け作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>玉掛け方法は、荷の形状と重心を考えた安定した状態で行う。</li> <li>棒鋼、パイプ等を多数一挙につる時は、安全なつり金具の使用か、滑り止め防止を行う。</li> <li>荷の角にロープ等があたるときは、ロープ等のすれや、滑り防止のための当て物を行う。</li> <li>クレーンの誘導は、指名された合図者が、基本にそった誘導方法を行う。</li> <li>また補助的に笛による合図も行う。</li> <li>荷卸しする場所は、あらかじめ枕木等を置き、きちんと整理し安定した状態に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>有資格者による作業を行う。</li> <li>つり荷の下へは、立ち入らない。</li> <li>荷卸しの荷の下へ入らぬように介錯ロープを付けて作業を行う。</li> <li>ワイヤーロープ、その他つり具は、定格荷重以内で使用する。</li> <li>ナイロンスリングの点検 (使用期限・ほつれ具合・耐荷重の確認を実施する)</li> </ul>
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用した道具、機材、余った材料を片付け、最後に竹ぼうきで清掃する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。</li> <li>ボルトの一本まで落ちていないか確認する。</li> <li>使用したワイヤーロープには、塗油を行う。</li> </ul>

作業編成(標準)		機材		資材		安全器具・保護具	
作業責任者	1 名	玉掛けワイヤー		帯・枕木		ヘルメット	
現場監視員	1 名	シャックル				反射(自発光)チョッキ	
クレーン作業員	1 名					警笛	
作業員	2 名						

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し、作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談する。

## ■注意事項(共通の指導事項)

- 1.作業は、有資格者が操作を行う。
- 2.吊り荷の下へは絶対に入らない。
- 3.ワイヤーロープ・ナイロンスリングは、定期的(月1回以上)にも点検を行い、点検終了後は、決められたテープを巻き、点検終了の印を行う。
- 4.一人作業の禁止